

指している。

●この交流施設の中に災害時の避難所と防災備蓄庫整備を計画しているのか。

町長 ▶ 本施設は高齢者や乳幼児等の要配慮者などが利用する福祉避難所としての機能を持たせたいと考えている。防災備蓄はそれらの避難所利用者が必要とする数量に留め、一般町民が使用するための防災備品は別の場所に、備蓄庫を整備したいと考えている。

現在、防災備品を保管している防災備蓄庫は、施設の新老朽化が著しく、早急に新たな防災備蓄庫を整備す

る必要がある。

今後、補正予算で庁舎敷地内に防災備蓄庫を整備するための検討を進めたい。

●現在使用されている温浴施設の老朽化の問題を考えると、一年でも早い拠点の建設が望まれると思うがいかがか。

町長 ▶ 今後、担当者が町内の各年代層で話を聞きながら庁舎内でも協議し、拠点整備構想の概要を常任委員会に示していきたい。

聞き取りや、それらの協議経過が早ければ一年でも早くという形は実現可能と考える。



佐藤 忠志

・幌延町表彰条例について  
・災害(大地震・津波)に対する防災対策について

●各表彰式が隔年ごとに行われるようになった理由は。

町長 ▶ 隔年になったのは昭和53年からで、表彰対象者の減少や、職員の事務負担の軽減を図るため当時の表彰審議会において

協議し決定されたのではないか。

●北海道知事からの感謝状を受領者方は、町の6種類ある表彰条例に該当しないのか。

町長 ▶ 北海道知事からの感謝状の贈呈をもって、幌延町の表彰対象者になる規定はないが、道と町との類似性を考慮し、今後は表彰対象者とすべきか検討したい。

●北海道の防災会議で、最大津波の到達時間を考慮し日本海側を最優先するとの新聞報道があった。幌延町にもサロベツ断層帯があり、マグニチュード7以上の地震も想定されているが、どのような防災対策を検討しているのか。

町長 ▶ 新たに配置された防災マネージャーを中心に、避難訓練や防災に関する勉強会の開催を行い、町民の防災意識を高めていきたい。

●指定緊急避難場所の耐震化対策はされているのか。

町長 ▶ 地震が発生した場合の避難所は耐震基準を満たしている。

●畜舎の耐震化については調査されているのか。

町長 ▶ 畜舎は補助事業で建てたものは建築基準法に基づいていると思うが、それ以前の畜舎は農協とも相談しながら、調査の実施も含めて検討したい。

1月24日

第1回幌延町議会

臨時会

議案第2号

工事請負契約の変更

町道幌延北進線道路改良工事

深澤議員 ▶ 4百2万円の増額理由と内訳は。

角山産業建設課長 ▶ 産業廃棄物の処分に関して数量的に取り壊しする部材が当初より多かったことが関係し、直接工事費98万円、運搬費

用88万円。路面ヒーター準備費用47万円増、諸経費を加えて4百2万6千円。

深澤議員 ▶ 路面ヒーターを使用できない時期に合わせて発注できなかったのか。

角山産業建設課長 ▶ 路面ヒーターは北海道の冬季施工の基準等で定められており、費用計上ができる。

今後は、なるべく早期発注できれば費用も下がるので、留意して事業を進めたい。

議会の動き

2月22日 ▶ 北留萌消防組合議会定例会

2月28日 ▶ 第3回まちづくり常任委員会

議会運営委員会

全員協議会

3月5日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会定例会

3月11日~3月13日 ▶ 第2回幌延町議会定例会

令和6年度予算審査特別委員会

3月25日 ▶ 幌延深地層研究センター350m調査坑道公開見学会

4月3日 ▶ 幌延深地層研究計画 令和6年度調査研究計画説明会

4月3日 ▶ 議会報発行編集委員会

4月10日 ▶ 議会報発行編集委員会

